



8
2021

発行所
大阪府中央区玉造2-24-22
カトリック大阪大司教区
広報委員会
郵便番号 540-0004
TEL (06) 6941-9700(代表)
TEL (06) 6946-3223(直通)
FAX (06) 6946-3224(直通)
E-mail: jho@osaka.catholic.jp
編集 広報委員会
発行人 前田万葉

本紙
「点訳版」「音訳」
あります。〈無料〉
※ご希望の場合は
下記まで申込み
「点訳版(点字本)」
時報 ☎06-6946-3223(直通)
FAX ☎06-6946-3224(直通)
「音訳(テープ・デジター)」
山口さん ☎0798-34-4228

☆ラジオ「信仰の時間」Sr吉住映利子 (2面)
☆教区カトリック中学・高校入学案内 (3面)
☆イエスにならう生き方を求めて (4面)
☆ユースト高山右近の生涯と信仰 (4面)
☆カテキズムの学び (5面)
☆生きる一難民移住移動者 (5面)
☆2020年度教区会計報告 (6・7面)
☆jho@osaka.catholic.jp (5面)

『時報』原稿・
資料等の締切は
前々月末です。



夙川教会創立 100 周年記念にあたって
創立者ブスケ神父の献身を想う

西宮夙川教会創立

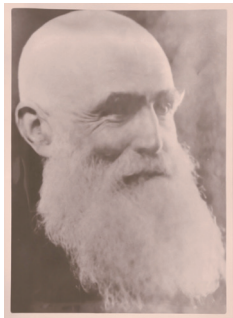


「平和旬間(8月6日▼15日)」を迎える季節となった。今年11月、創立100周年を祝う夙川教会にも、信仰のために戦争の犠牲となった宣教師、ブスケ神父がいた。師の純粋な信仰と友情、痛ましい戦争体験を思い起こしたい。

1921年10月、ジャン・バティスト・カスタンニエ司教(パリ外国宣教会)は、阪神間初の教会設立を同会のシルヴェン・ブスケ神父に託した。翌月、神父は西宮市役所近くの借家で初ミサをささげる。西宮は、えべっさん(えびす神社)を中心に発展した古い町で、キリスト教になじみやすい環境ではなかった。神父は2年後、当時郊外住宅地として開発されつつあった夙川に用地を購入する。ちょうど神戸の旧居留地教会が中山手へ新設移転した直後だったので、その空家となった旧聖堂を貰い受けて仮聖堂とした。それから9年間、神父は命がけで新教会建設に取り組む。

毎朝3〜4時起床、6時のミサまで聖体に向かって祈り、黙想し、説教では神の愛を涙ながらに説き、計画実現のため全信徒に犠牲と応分の協力を求め、布教地の保護者、幼きイエスの聖テレジアに執りなしを願った。当初、大聖堂は分不相応、時期尚早と多く

晩年のブスケ神父



の批判を受け、司教も難色を示したが、神父はこれこそ神のみ旨であると不撓の精神とたゆまぬ情熱とで計画を推進し、聖堂を1932年4月に完成させた。神父はかねてより「すべての事業には犠牲の裏付けが必要である」と語っていたが、翌1933年2月、敗血症が悪化し、足数か所の切開手術を受けた。信者の献血を受け、「私の体は日本人の血を受けて日本人になった」と喜んだというが、その年の聖週間に危篤となり、病者の塗油を受け、同僚や信徒は別れの挨拶に訪れた。

「殉教者」ブスケ神父

太平洋戦争たけなわの1943年2月16日、ブスケ神父は旧北野教会を急襲した大阪憲兵隊により逮捕、連行された。

その約一年前、一人のインテリ風青年が神父を尋ね、キリスト教指南を求めた。神父は喜んで教会に迎え入れて公教要理を教え、青年は神父の発言を克明にメモした。青年は一年後に洗礼を受け、聖体を拝領に及ぶが、実は、彼は軍部から送り込まれたスパイであった。人を疑わない性格のブスケ神父は、神への信仰を包み隠さず吐露し、「天皇は神か」との質問に「ノー」と答え、訴追の証拠を提供してしまう。



1902年、京都の写真館で撮られた若き宣教師2人の写真(左・マルモニエ神父、右・ブスケ神父)

酷寒2月の監獄での厳しい尋問中、神父は自分が洗礼を受けた青年が証人として現れたのに驚愕し、そのショックで精神錯乱に陥ったため、3月初めに精神病院に移送され、そこで肺炎に陥った。

3月10日、旧北野教会助任のエティエンヌ・デュレキ神父は憲兵の訪問を受け、枚方の中宮病院に同行したが、医師から神父は急性肺炎のため死亡したと告げられる。憲兵は神父の遺体引き取りを命じたが、死の公表は禁止し、葬儀にはフランス人同僚司祭4人と関係者数名の出席しか認めなかった。葬儀後、憲兵は直ちに棺を土中に埋まるのを確認して引きあげた。神父の死は終戦まで公表されなかった。

6年後、豊中から夙川へ遺体が移送された際の追悼ミサで、田口芳五郎司教(※当時)は、「ブスケ神父は殉教者であった」と弔辞を述べた。

(夙川教会 五百旗頭邦夫)

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 企画展

わが命つきるとも
—神父たちのヒロシマと復活への道—

2021年3月1日(月)～2022年2月28日(日)

被爆に立ち向かった
神父たちのものがたり

■大型スクリーンによる映像展示
■神父や修道女たちの被爆体験記
■被爆した祭具や神父の体験記(直筆)、神父の遺品等、約10点

展示映像(30分)はここからご覧になれます

病者・障がい者とともに歩むミサ

9月23日(木・祝) 14時
司式：前田万葉大司教
リモート参加とYoutube配信

共同祈願のための「病者の祈り」と「病者のための祈り」を募集します。

※字数は50～200字程度。
ハガキにて教区本部「障がい者委員会」まで郵送。
当日ミサ中に代読、または後日の時報紙上で、編集掲載させていただきます。

信仰の時間
ABCラジオ
(朝日放送)
AM1008/FM93.3

毎週日曜日
5:50～6:00AM

朝一番、祈りのひとときをもちませんか

8月担当：和越 敏 神父

スマホアプリのradiko(ラジオ)でも聴くことができます。

ひとりで悩まないで
～私たちに聴かせてください～

カトリック大阪大司教区
セクシュアル・ハラスメント
相談窓口

電話番号:06-6941-9718

相談窓口受付時間
月・火・金曜日(祝日を除く)
午前10時～午後4時

あなたの悩みを親身になって受け止めます。
秘密は守られます。